

<p>1 学校教育目標</p> <p>教育目標                  生徒一人ひとりの可能性を伸ばす学舎づくりの推進                  1 確かな学力の向上(知)                  2 豊かな心の醸成と個性や能力の伸長(徳)                  3 体力の向上と健康増進(体)</p> <p>中・長期目標                  1 総合学科の特色を生かしたキャリア教育の推進                  「産業社会と人間」及び「未来プランニング」による進路意識の早期醸成・深化                  2 確かな学力の向上を目指した学習習慣の定着                  キャリア教育を視野に入れた基礎学力の徹底指導                  3 「自己選択・自己管理・自己責任」を基盤とした基本的生活習慣の定着                  自立した行動力のある人づくりの推進                  4 読書力及びコミュニケーション能力の育成                  読書活動と円滑な人間関係づくりの推進</p>
--

<p>2 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)</p> <p>【学校運営】                  ○特に「総合学科推進委員会」を設けることなく、定期的な「運営委員会」に併せて実施し、効率的、効果的な協議ができた。                  ○関係主任が中心となり各課、学年の枠を超えた協議ができており、分掌業務も円滑に進められた。</p> <p>【学習指導】                  ○生徒一人ひとりの進路目標が達成できるよう、1年次で行う科目選択指導の充実を図った。                  ○進路目標の実現に必要な学力の育成のために、定期考査、朝の小テスト、一斉考査等への取組の向上に努めている。                  ○本校の特色である「少人数制授業」、「進路希望別講座」が生かされるユニットの改善や科目選択モデルパターンのきめ細かな作成が行われている。</p> <p>【生徒指導・教育相談】                  ○全教員による地道な指導や生徒指導連絡会などによる情報交換により、問題行動も少なく全体的に落ち着いている。                  ○いじめアンケートや面談週間を実施し、スクールカウンセラーを積極的に活用することにより、生徒や保護者の心のケアの面で充実した支援ができています。</p> <p>【進路指導】                  ○進路別講演会、進路ガイダンス等を概ね計画的に企画・実施し、職業・進路理解を深化させ、キャリア教育の充実を図ることができた。                  ○進路指導課、各学年団が協力して「進学プロジェクト」、課外授業、面接・小論文指導等にあたり、一人ひとりの進路実現に向け一定の成果をあげることができた。                  ○3年間を見据えた進路指導計画を今一度検討し、生徒の進路実現に向けた継続的な指導体制を築く必要がある。</p> <p>【業務改善】                  ○各分掌主任や関係教員が事前に共通理解を図るなど、各種会議において効率的、効果的な協議がなされ成果もあがった。</p> <p>【その他】                  ○問題行動や遅刻等の減少にみられるよう、規範意識や基本的生活習慣の確立が図られ、落ち着いた雰囲気で学校生活がおこなわれている。</p>
---

<p>3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)</p> <p>(本年度重点を置いて取り組む目標)</p> <p>1(総務課)                  ◇学校改善を目指す保護者・教員・生徒が参加する話し合いの場を設け、PTA教育力向上プロジェクトの一層の充実を図り、開かれた学校づくりを推進する。                  ◇生徒の読書活動と学校図書館利用の活性化を目指す。</p> <p>2(教務課)                  ◇「産業社会と人間」の科目選択、「未来プランニング」の探究活動、朝読書・小テストを組織的に指導することにより、生徒の学習意欲を向上させ学習習慣を定着させる。</p> <p>3(生徒指導課)                  ◇本校チャレンジ目標「自立した人になろう」の実現に向け、生徒会活動をより活性化し、自主的にルールを守る態度を育成する。                  ◇全教員による登下校指導や校内巡視を積極的に実施し、あいさつの励行、校内美化に努める。</p> <p>4(進路指導課)                  ◇進路講演会や進路ガイダンス等をさらに充実させ、職業理解と進路理解の深化を図り、ライフプランに対応したキャリア教育を推進する。                  ◇「進学プロジェクト」や課外授業等の効果的な活用により、生徒一人ひとりの進路目標を実現する。</p> <p>5(保健体育課)                  ◇心身の健康・安全に関心を持ち、健康安全の保持・増進に取り組む生徒の育成を図る。                  ◇生徒が積極的に取り組める学校行事の環境を整え、活気ある学校づくりを推進する。</p> <p>6(1年次)                  ◇4つの徹底(時間厳守・あいさつ・掃除・ルールとマナー)                  ◇4つの定着(授業の集中・家庭学習・読書習慣・部活動)</p> <p>7(2年次)                  ◇3つの徹底(時間厳守・あいさつ・掃除)                  ◇進路目標の確立とその実現を目指す取組を進める。</p> <p>8(3年次)                  ◇信頼される人(あいさつ・時間厳守・掃除)、責任ある言動のとれる人(規範意識)、進路実現に向けて最後まで粘り強く努力できる人を育成する。                  『チャレンジ目標』 『自立した人になろう～自ら考え、自ら行動しよう～』</p>
---

4 自己評価					5 学校関係者評価		
評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見・要望等	評価
学校運営	機能的な組織づくりの一層の推進	各課主任・年次主任との情報交換を適宜行い、連携を密にする。	4: 定期的に打合せを実施 3: 概ね打合せを実施 2: 打合せがやや不十分 1: 打合せが不十分	4	○定期的な打合せを実施したことに加え、状況に応じて臨時に情報を交換し、適切に対応した。 ○それぞれの担当の立場から建設的な意見が交わされ、課題解決に向けて成果を上げた。	・早く職業を体験させるなど、キャリア教育を充実させ、進路意識の早期醸成・深化を図ってほしい。	A
		各課会・年次会を定期的に開催する。	4: 定期的に開催 3: 概ね定期的に開催 2: 開催がやや不十分 1: ほとんど開催できなかった	4	○他の行事との調整を図りながら定期的に会を開催した。 ○各課会・年次会の協議では、その会の目的を明確にし、様々な課題に向けた解決に効果を上げた。		
	活力ある学校づくりの推進	総合学科推進委員会や関係諸会議を定期的に開催し、特色づくりに向けた諸課題を検討する。	4: 定期的に開催 3: 概ね定期的に開催 2: 開催がやや不十分 1: ほとんど開催できなかった	3	○総合学科推進委員会を年3回実施し、業務内容を明確にした。加えてキャリア教育を円滑に進めるため、組織改編も行った。その他の委員会は概ね定期的に開催できた。		

平成27年度 山口県立防府西高等学校 学校評価書 校長(吉長 幸視)

学習指導	教育課程・指導方法の工夫改善と基礎学力の定着	科目選択に関わる生徒との面談、保護者説明会を計画的に実施する。	4: 計画的に実施 3: 概ね計画的に実施 2: 実施がやや不十分 1: ほとんど実施できなかった	4	○6月の学校開放日に保護者対象の科目選択ガイダンスを実施した。生徒との面談は正副担任を中心に計画的に行えた。 ○モデルパターンを作成し、選択しやすくした。	・二年次からの科目選択がモデルパターンにより大変わかりやすくなっているのに加え、6月の学校開放日の科目選択ガイダンスに一年次の約半数の保護者が参加している。今後も生徒一人ひとりが進路希望に応じた的確な科目を選択できるよう、引き続き手立てを講じてほしい。	A
		生徒による授業評価を年2回実施し、授業改善を図る。	4: 全ての教科で実施 3: 概ね全ての教科で実施 2: 半数程度の教科で実施 1: 実施できなかった	4	○全ての教科で実施した。各教科で課題を検討し、授業改善に取り組んだ。		
		各教科で研究授業を行い、指導方法の工夫・改善を図る。	4: 全ての教科で実施 3: 概ね全ての教科で実施 2: 半数程度の教科で実施 1: 実施できなかった	3	○概ね実施できた。 ○教員が少ない教科もあるので、他教科への授業参観が負担なくできるよう計画することが必要である。		
	学習意欲の高揚	正副担任とガイダンスカウンセラーを中心に科目選択についてきめ細かな指導を行う。	4: 計画的に実施 3: 概ね計画的に実施 2: 実施がやや不十分 1: ほとんど実施できなかった	4	○正副担任及びガイダンスカウンセラーによるきめ細やかな面談を実施し、生徒が進路希望等に応じた的確な科目を選択できるよう指導した。		
生徒指導・教育相談	基本的な生活習慣の定着	全教員当番制の昇降口前及び校門での登校指導を実施する。	4: 毎週3日実施 3: 毎週2日実施 2: 毎週1日実施 1: ほとんど実施できなかった	4	○全教員当番制で週3回、登校指導を実施した。服装の乱れや不注意による遅刻も減り、基本的な生活習慣の定着は図られている。今後も継続して指導していきたい。	・登校時の声かけ、学期に2回の全校一斉の服装頭髪指導等により、挨拶もよくなされ、学校全体が落ち着いている。  ・様々な悩みを抱えた生徒に対し、スクールカウンセラーや専門の関係機関との連携を引き続きスムーズに行い、生徒や保護者の心のケアに努めてほしい。	A
		生徒指導課員による登校指導、校外巡視を徹底する。	4: 毎日実施 3: 毎週3日実施 2: 毎週2日実施 1: ほとんど実施できなかった	4	○毎朝生徒指導課を中心とした複数の教員が、登校時の生徒に声をかけ、定期的に大道駅周辺や学校近くの交差点、列車内等でも服装・マナー指導を実施した。校外での生活態度も落ち着いてきている。		
	規範意識の高揚	全校朝礼を定期的を実施する。	4: 毎月1回実施 3: 2ヶ月1回実施 2: 学期1回実施 1: ほとんど実施できなかった	3	○校長、生徒指導課などからの講話を通し、生徒は生き方や、共通理解しておくべきまじりやマナーについて学び、生徒の人格形成に有意義であった。 ○授業開始時間との調整が難しいため、来年度は全校終礼にする予定である。		
		全校集会において、服装頭髪指導を実施する。	4: 学期に2回実施 3: 学期に1回実施 2: 年1回実施 1: 実施できなかった	4	○全校一斉に服装頭髪指導を毎学期2回実施するとともに、日頃から全教員で生徒に声をかけ指導した。今後も継続した指導を行いたい。		
	人権教育の推進	年間計画に沿って、人権教育を実施する。	4: 計画どおり実施 3: 計画の80%実施 2: 計画の半分実施 1: 実施できなかった	4	○年間計画に沿って各学期のロングホームルームで人権教育を実施し、生徒の人権意識の向上につながった。		
		教員の資質能力の向上を図るため、校内教職員研修会を実施する。	4: 参加率90%以上 3: 参加率80%以上 2: 参加率60%以上 1: 実施できなかった	3	○年次別の研修会を2回実施し、参加率は90%以上であった。校外研修会の復伝講習を1回実施し、参加率は80%台であった。参加できなかった教員には資料を配付し、内容の周知徹底を図った。		
	温かい人間関係づくりの推進	1・2学期面談週間を設定し、相談しやすい雰囲気づくりに努める。	4: 計画どおり実施 3: 計画の80%実施 2: 計画の半分実施 1: 実施できなかった	4	○計画どおり面談週間を設定し、学級担任と生徒がじっくり話す面談時間を確保できた。 ○学習面・精神面においてサポートするのに適切な時期を設定でき、効果が上がった。		
		スクールカウンセラーを積極的に活用する。	4: 適切に活用した 3: 概ね適切に活用した 2: 十分活用できなかった 1: 活用できなかった	4	○スクールカウンセラー事業の割当を全て活用し、専門的な支援を受けることができた。また、地域コーディネーター、医療機関との連携も円滑に行われ、生徒や保護者の心のケアに成果があった。		

平成27年度 山口県立防府西高等学校 学校評価書 校長(吉長 幸視)

進路指導	キャリア教育の充実	進路別講演会、進路ガイダンス等を計画的に実施する。	4: 計画的に開催 3: 概ね計画的に開催 2: 開催がやや不十分 1: ほとんど開催できなかった	4	○各年次と連携して計画的に開催し、キャリア教育の充実を図ることができた。特に、夏休み前に実施した「小論文ガイダンス」では、進路意識の向上に効果をあげることができた。	・二年次夏季休業中のインターンシップは具体的な体験を通して、将来像や職業観、勤労観が深められ、生徒から大変高い評価が得られている。効果的な取組を継続してほしい。  ・進学プロジェクトや小論文対策の充実、二年次生の模擬試験の受験者の増加など、進学指導も進みつつある。今後は生徒により早い進路決定を促し、指導を強化してほしい。
		総合的な学習の時間「未来プランニング」で希望進路と関連づけた効果的なインターンシップを実施する。	4: 計画どおり実施 3: 計画の80%実施 2: 計画の半分実施 1: 実施できなかった	4	○2年次生全員がそれぞれの進路希望に合った事業所等で夏季休業中にインターンシップを実施し、進路意識の醸成をはかることができた。 ○体験的な活動や人との関わりを通じて、生徒が自己の将来像や職業観・勤労観を深めることができた。	
	進路意識の育成・高揚	進路個人カードや模試の結果等を活用して、課・年次・教科において情報の共有化を図る。	4: 共有化が図られた 3: 概ね図られた 2: やや不十分であった 1: 不十分だった	3	○今後は、進路個人カードを有効に活用して、年次をまたいだ情報の共有を図り、生徒の進路決定に対して早めの対応に努めたい。 ○今後も、進路だよりやホームページ等を通じて情報を発信し家庭との連携を図っていききたい。	
		「進学プロジェクト」への参加を促し、提出物の指導や個人面談など生徒一人ひとりに対応した指導を行う。	4: 計画どおり実施 3: 計画の80%実施 2: 計画の半分実施 1: 実施できなかった	4	○「進学プロジェクト」に朝学が加わって3年目となり、小論文対策として3年間頑張った生徒が推薦入試で力を発揮した。 ○今後は、個人面談等生徒一人ひとりに対応したきめ細かな指導を徹底し、一般入試でも対応できる力をつけることが課題である。	
	全員の進路希望実現に向けた進路指導の充実	課外授業や模擬試験を計画的に実施し、学力の向上を図る。	4: 計画どおり実施 3: 計画の80%実施 2: 計画の半分実施 1: 実施できなかった	4	○生徒の進路実現に向けて課外授業や模試を計画的に実施し、学力の向上に有効であった。 ○公務員・危険物ガイダンス等各種ガイダンスを実施し、一定の成果をあげた。 ○2年次生を中心に模擬試験の受験者が増加傾向にあるので、今後も継続したい。	
		保護者対象の説明会や進路だよりを定期的に発行し、家庭との連携を図る。	4: 計画どおり実施 3: 計画の80%実施 2: 計画の半分実施 1: 実施できなかった	4	○保護者対象の進学説明会には、今まで以上に多くの参加者があった。今後もより多くの保護者が参加するように、内容の工夫等を行っていききたい。 ○今後も、進路だよりやホームページ等を通じて情報を発信し家庭との連携を図っていききたい。	
一人ひとりの進路希望に応じた就職指導、進学課外、小論文課外等を実施する。		4: 計画どおり実施 3: 計画の80%実施 2: 計画の半分実施 1: 実施できなかった	3	○主に3年次学年団・進路指導課が連携を図り、進路希望に応じたきめ細かな指導を概ね計画的に実施することができた。 ○生徒の進路決定をより早くすることにより高い効果が期待できることから、早めの指導が必要である。		
健康安全	健康づくりと体力の向上	健康・体育に関する学校行事の充実を図る。	4: 効果的に実施 3: 概ね効果的に実施 2: 効果的に実施できなかった 1: 実施できなかった	3	○体育的・学校行事については概ね計画的に実施でき生徒も積極的に活動した。 ○健康に関する行事では、新たに「薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室」を保健体育課で実施し充実を図った。	・内科系来室者全員に入室カード「生活の様子」を記入させる指導は、生徒が生活を振り返ることのできる大変すばらしい取組である。今後もぜひ継続してほしい。  ・体育的・学校行事、PTA常任委員と連携した交通指導、避難訓練の実施や生徒引渡マニュアルの作成など、取組が充実している。
		ヘルスプロモーションの概念に基づき、一人ひとりが自らの健康問題について考え行動するための啓蒙活動の充実を図る。	4: 効果的に実施 3: 概ね効果的に実施 2: 効果的に実施できなかった 1: 実施できなかった	4	○日常や季節、学校生活での様々な場面、学校行事においてリスクファクターを設定し、生徒保健委員会の「ほけんだより」、保健室からの保健指導文書の配付、全体集会やHRでの保健指導を通じ充実した活動を実践した。	
	心身の健康維持	保健室「入室カード」をもとに個別指導を実施する。	4: 入室者全員に実施 3: 80%に実施 2: 半数に実施 1: ほとんど実施できなかった	4	○内科系来室者全員に、入室カード「生活の様子」を記入させることで、生徒とともに生活の振り返りを行うことができた。入室カードは、就寝時間の遅い生徒や朝食欠食が日常化している生徒への個別の指導に生かすことができた。今後も続けていきたい。	
		健康に対する意識を高め、受診率の向上と再検査・治療等の事後措置について徹底する。	4: 十分徹底した 3: 概ね徹底した 2: やや不十分 1: 不十分	3	○受診勧奨文書を年2回発行するとともに、学期末保護者会で学級担任から治療の働きかけをお願いした。 ○養護教諭、保健主任が9月と12月に未治療者を対象とした個別指導を実施した。 ○治療率は軒並み向上しており、歯科については治療中を合わせると73%であった。 ○心臓検診や尿検査ですでに医師の管理下にある生徒の追跡検診が100%ではないため、継続指導を行っていききたい。	
	交通安全・危機管理意識の高揚	登下校時の交通安全指導及び保護者参加の交通安全指導を実施する。	4: 年30回以上実施 3: 年20回以上実施 2: 年10回以上実施 1: ほとんど実施できなかった	4	○全教員で継続的に交通安全指導を実施し、交通事故防止に努めた。 ○交通安全運動期間中に生徒会・交通委員及びPTA常任委員が連携して交通指導を実施するなど、家庭・地域・学校が協力して交通安全に努めた。	
		防災・防犯についての全体指導を実施する。	4: 年3回実施 3: 年2回実施 2: 年1回実施 1: 実施できなかった	4	○防災避難訓練、危機回避教室を年5回実施した。また、全校朝礼や年次集会において、定期的に防犯についての全体指導を実施した。 ○大規模災害時の保護者への生徒引渡マニュアルを新たに作成し、保護者に周知した。	

平成27年度 山口県立防府西高等学校 学校評価書 校長(吉長 幸視)

図書	読書への意識高揚	毎月行われる図書委員会の活動や図書だよりの発行を通し、図書館利用の活性化を図る。	4: 年間10回以上発行 3: 年間7回以上発行 2: 年間5回以上発行 1: 年間3回以上発行	4	○図書だよりの発行や新着図書の紹介など、広報活動を通して図書館利用の促進に努めた結果、貸出冊数は昨年度より増加した。しかし、来館者は1日につき10人に満たない日が多く、今後も図書館利用への積極的な呼びかけが必要である。	・地域の小学校では図書ボランティアが本の入替や手に取って分かりやすい本の紹介を行っている。参考になるのではないかと。図書館には新刊本だけでなく、授業に必要な蔵書がたくさんある。ぜひ活用を促してほしい。	B
	開かれた学校図書館の運営促進	図書アンケートを実施し、読書指導に活かす。	4: 十分活用できた 3: 概ね活用できた 2: やや不十分 1: 不十分	3	○1・2学期にアンケートを実施し、図書館に対する意識や読書傾向などを図書だよりに掲載した。 ○生徒が推薦する本の紹介文を図書館前に掲示し、様々なジャンルの作品に興味関心を持つよう、読書活動の啓発に努めた。		
情報	情報モラル教育の推進	情報モラル教室等を開催、資料を掲示し、情報モラルの高揚を図る。	4: 効果的に実施 3: 概ね効果的に実施 2: 効果的に実施できなかった 1: 実施しなかった	3	○3月に情報モラル教室を開催し、意識の向上を図ることができた。 ○情報の授業を1年次に履修することで、入学後、早期に指導の機会を設ける。	・情報モラル教室は、新二・三年次生は3月、新入生は4月のオリエンテーションでぜひ開催してほしい。	B
		部活動の活性化	部活動集会を実施し、部活動への関心、加入率の向上を図る。	4: 加入率90%以上 3: 加入率70%以上 2: 加入率50%以上 1: 加入率30%以上	4		
特別活動	主体性の育成	生徒会中心のボランティア活動及び清掃活動を企画実施する。	4: 毎月1回実施 3: 概ね毎月1回実施 2: 2ヶ月に1回実施 1: ほとんど実施できなかった	4	○全校生徒に呼びかけ、学校周辺の清掃活動を行うクリーン作戦を毎学期1回、整備委員会が行う学校内の清掃活動を毎月1回、生徒会執行部が行う朝のあいさつ運動を毎学期3日程度、実施した。	・クリーン作戦は地域にとって良い活動である。継続してほしい。	A
		生徒会や常設委員会を定期的に開催し、活性化を図る。	4: 毎月1回実施 3: 概ね毎月1回実施 2: 2ヶ月に1回実施 1: ほとんど実施できなかった	4	○常設委員会は毎月1回実施し、反省点を見直し改善を図りながら、それぞれの委員会が活動した。生徒会は必要に応じて招集し、学校行事等の企画、運営を行い、学校の活性化に努めた。		
	チャレンジ目標の推進	各年次ごとに具体的な目標を設定し、取り組む。	4: 全年次とも達成 3: 2つの年次が達成 2: 1つの年次が達成 1: 達成できなかった	4	○全年次で生徒の状況に応じた具体的な目標を設定し、各年次とも概ね目標を達成することができた。		
開かれた学校づくり	保護者との連携推進	コミュニケーションフォルダ・学校ホームページを活用して、保護者への文書連絡を徹底する。	4: 十分徹底した 3: 概ね徹底した 2: やや不十分であった 1: 不十分であった	3	○学校からの配付物をその日のうちに保護者に見せる生徒が6割強を上まわった。 ○コミュニケーションフォルダの利用について、生徒・保護者に機会あるごとにさらに周知徹底したい。	・大道駅掲示板の活動報告やこれから行う行事の宣伝は、小さな判でも良いので頻繁に行ってほしい。	B
		学校アンケートを年2回実施し、PTA教育力向上プロジェクトを更に推進する。	4: 十分推進した 3: 概ね推進した 2: やや不十分であった 1: 不十分であった	4	○PTA教育力向上プロジェクトに生徒会を参加させ「学校アンケート」に生徒の意見を反映させた。 ○「学校アンケート」の集計結果を今後も学校運営の改善に生かしていきたい。		
	効果的な学校PRの推進	地域の中・高教員や保護者を対象とした授業公開を実施する。	4: 計画どおり実施 3: 計画の80%実施 2: 計画の半分実施 1: 実施できなかった	4	○計画どおり実施した。1年次保護者を対象とした科目選択説明会後、授業参観の機会を設けたことが本校の特色をアピールするよい機会となった。		
		地域との連携を強化するため、「防府西高だより」を大道駅掲示板に定期的に掲示するとともに台道地区に回覧し、効果的な学校PRに努める。	4: 2ヶ月に1回更新 3: 学期に1回更新 2: 年に2回更新 1: 更新できなかった	3	○各学期に1回ずつ年間3回更新した。台道地区にも3回回覧した。 ○ホームページの更新に合わせ、行事ごとに行えるだけタイムリーな情報発信に努めた。また、行事報告だけでなく、掲示内容についても工夫したい。		
効果的な学校PRの推進	学校ホームページの更新・充実を努め、最新情報をタイムリーに発信する。	4: 年12回以上更新 3: 年9回更新 2: 年6回更新 1: 年3回以下の更新	4	○ホームページについて内容の充実と改善を図り閲覧しやすくなった。 ○行事ごとにタイムリーな情報発信に努めた。 ○ホームページによる緊急情報の活用について保護者・生徒に周知徹底したい。			
	学校案内リーフレットを活用し、中学校進路説明会等で効果的に学校PRを行う。	4: 効果的にPRできた 3: 概ね効果的にPRできた 2: PRがやや不十分であった 1: PRが不十分であった	4	○中学生に本校の魅力をアピールできるように内容・構成を一部改編した。 ○中学校での進路説明会や本校で夏休みに行った中学生対象の学校説明会では、学校案内リーフレットの活用とともに、生徒からのビデオメッセージや生の声を伝えた。			

平成27年度 山口県立防府西高等学校 学校評価書 校長(吉長 幸視)

1 年次	基本的な生活習慣の確立	時間厳守ができるよう指導の徹底を図る。	4: 指導が徹底した 3: 指導が概ね徹底した 2: 指導がやや不十分 1: 指導が不十分	3	○遅刻者数は1学期7から2学期20へと増加しているが、前年比でみると半減しており、指導の成果がみられる。また、提出物等の指導に関しても、「忘れた者は取りに帰らせる」という指導を年間を通じて行った結果、概ね提出期限を守るようになってきた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的な学習をさらに増加させるよう指導してほしい。</li> <li>・椅子を机の中に入れるマナーは、就職後も引き続き大切なので、授業の時だけでなく休み時間に席を離れる時でも徹底してほしい。</li> </ul>	B
		身だしなみ・挨拶の徹底を図り、「見逃さない指導」をする。	4: 指導が徹底した 3: 指導が概ね徹底した 2: 指導がやや不十分 1: 指導が不十分	4	○ほとんどの生徒が身だしなみをきちんとしており、指導が概ね徹底できた。教室での挨拶の際、椅子を机の中に入れて起立したり、下足入れの靴のかかかきを揃えて入れるなど、細やかな指導も徹底できた。		
	学習習慣の定着	家庭での学習時間確保をするよう指導する。	4: 指導が徹底した 3: 指導が概ね徹底した 2: 指導がやや不十分 1: 指導が不十分	3	○「自主学習ノート」や「学習プリント」を毎日提出させ、チェックすることにより家庭学習の時間を確保するよう勧めた。その結果、ほとんどの生徒がノートやプリントを毎日提出するようになった。今後の課題は自主的に学習時間を増加させることである。		
		朝の読書や小テストへ集中して取り組むよう指導する。	4: 指導が徹底した 3: 指導が概ね徹底した 2: 指導がやや不十分 1: 指導が不十分	4	○朝学小テストの平均点(20点満点)については、漢字16.6、数学14.9、英単語15.2という成績であった。クラス間で若干の差があるところが気になる。朝の読書は、ほぼ全員が本を持参し読んでいる。図書室の学級文庫用の本を教室に置いたことも効果があった。		
2 年次	基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成	時間厳守(提出期限厳守)ができるよう指導の徹底を図る。	4: 指導が徹底した 3: 指導が概ね徹底した 2: 指導がやや不十分 1: 指導が不十分	4	○1年次からの継続指導事項である。個別に事情を抱える生徒には、担任を中心にきめ細かな指導を継続してきた。インターンシップや修学旅行時では、決められた時間を良く守ることができた。また、提出物等の指導に関しても、引き続き指導を徹底したい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルール、マナーの指導はできている。学習面をさらに向上させてほしい。</li> </ul>	B
		挨拶の励行と掃除の指導の徹底を図る。	4: 指導が徹底した 3: 指導が概ね徹底した 2: 指導がやや不十分 1: 指導が不十分	4	○昨年度からの継続指導事項。登下校時や校内では、大多数の生徒が挨拶を励行できており、インターンシップなどの実践では成果をあげた。また掃除の取組についても概ね良好あり、より一層の取組の向上を目指して、指導していきたい。		
		ルール・マナーを守ることの重要性を考えさせる。	4: 指導が徹底した 3: 指導が概ね徹底した 2: 指導がやや不十分 1: 指導が不十分	4	○今年度は校内生活はもとより、インターンシップ、修学旅行などの学校外での活動でも、集団生活において必要なルール、マナーの重要性も学ばせることができた。今後も更に規範意識を高め、社会生活を営む際に必要なルールを身につけさせたい。		
	学習習慣の定着・基礎学力の充実	家庭学習習慣の定着を図り、小テストの平均点15点を目標とする。	4: 平均点が15点以上 3: 平均点が13点~15点 2: 平均点が10点~13点 1: 平均点が10点以下	3	○朝学小テストの平均点(20点満点)については、国語「漢字」14.2、数学13.8、英語「単語」15.2という成績で、平均した数値は14.4であった。全員の基礎学力の定着と更なる向上を目指し、来年度に繋げてゆきたい。		
		朝の読書を通じて読書習慣が定着するよう指導する。	4: 指導が徹底した 3: 指導が概ね徹底した 2: 指導がやや不十分 1: 指導が不十分	3	○今年度は「朝の読書」の実施日程が改善され、昨年度よりも落ち着いた雰囲気の中で実践ができている。ただし、自発的な読書習慣の定着については、まだまだ課題が多いように思われる。家庭でのありようも重要なので、折に触れて啓発を継続したい。		
3 年次	社会人としての資質の育成	朝のHR、終礼、学年集会等において、身だしなみ・挨拶の指導や時間・期限の厳守を徹底する。	4: 指導が徹底した 3: 指導が概ね徹底した 2: 指導がやや不十分 1: 指導が不十分	3	○日々の学校生活、学年集会、行事等を通して、3年次の教員全員で身だしなみや挨拶、礼儀作法などの指導にあたる努力をした。その結果、3年次生としての自覚を持たせ、落ち着いた雰囲気を醸成することができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人としての身だしなみについては、入学時からの徹底した指導が大切である。</li> <li>・進路目標の実現について成果が見られる。</li> </ul>	B
		課外授業、模試の受験、各種検定の受験を奨励し、各自の進路に応じた指導を学年の最後まで徹底する。	4: 指導が徹底した 3: 指導が概ね徹底した 2: 指導がやや不十分 1: 指導が不十分	3	○課外授業、模擬試験、各種検定に多くの生徒が参加するように、進路指導の充実を図ることができた。 ○進路希望に応じた個別指導を行い、進路実現を進めることができた。		
	学力の充実と進路目標の実現	個人面談、面接指導を全生徒に実施し、きめ細かな進路指導を行う。	4: 100%実施 3: 95%以上実施 2: 90%以上実施 1: 90%未満実施	4	○進路指導課と連携し、三者面談を含む個人面談を計画的に実施し、適宜個別に面談を追加実施するなど、きめ細かな進路指導を行うことができた。 ○学校全体で充実した面接指導を行うことができた。さらに、教員間で指導内容の共有を進め、きめ細かな面接指導ができた。		
		就職指導専門員、外部講師等の講話を充実させる。	4: 計画どおり実施 3: 計画の80%実施 2: 計画の半分実施 1: 実施できなかった	4	○LHR、総合的な学習の時間などで、就職指導専門員や外部講師の講話、演習の機会を設け、進路意識の高揚を図ることができた。 ○就職指導員と学級担任との連携を図り、円滑な就職指導となるように努力をした。		
業務改善	学校の組織等				○各課課長・年次主任のリーダーシップの下、教職員と保護者との連携が図られ、行事や生徒指導をはじめ校務全体が円滑に行われた。保護者との連携も「PTA教育力向上プロジェクト」や文化祭の企画・運営をはじめ円滑に行われた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAとの連携や校内LANを利用した業務の効率化は改善できている。会議の効率的な運営について、職員会議の大切な議題をしっかりと議論しながらも、さらに運営を工夫してほしい。</li> </ul>	B
	円滑な協働体制の構築	各課・年次及びPTAの連携を密にし、校務の円滑な運営を図る。	4: 円滑に運営できた 3: 概ね円滑に運営できた 2: 十分運営できなかった 1: 全く運営できなかった	4			
	日常的な業務	校内LANを利用した全教職員への通知等の徹底	4: 十分改善できた 3: 概ね改善できた 2: 十分改善できなかった 1: 全く改善できなかった	4	○年度はじめに文書取受が校内LANとリンクされ、業務の能率が向上した。また全教職員が対象の通知も、校内LANを活用して積極的に周知された。		
	勤務状況	事前準備を徹底し、資料等を事前に示すことで勤務時間内に会議を終了する。	4: 十分徹底した 3: 概ね徹底した 2: やや不十分であった 1: 不十分であった	2	○教科や係別の会議は、授業の空き時間を利用して効率的に行われた。また放課後に開催した運営委員会も、年度の後半は勤務時間内に終了したが、職員会議は資料を事前に示していたにもかかわらず、勤務時間内に終わらないことが多かった。		

<p>6 学校評価総括(取組の成果と課題)</p> <p><b>【学校運営】</b>                  ○総合学科推進委員会を3回開催して委員会の業務内容を明確にした。また「産業社会と人間・未来プランニング検討委員会」を廃止して教務課・進路指導課担当者会議による連絡会として再編し、具体的な内容について協議することとした。今後は3年次生対象のアンケートの結果分析によるキャリア教育の改善を引き続き行う。</p> <p><b>【学習指導】</b>                  ○二年次からの科目選択がモデルパターンにより大変わかりやすくなった。また、科目選択ガイダンスを6月の学校開放日にあわせて実施したので、一年次の約半数の保護者が参加することができた。                  ○研究授業を通じた指導方法の工夫・改善については、教員が少ない教科もあるので他教科への授業参観が負担なくできるよう計画することが課題である。</p> <p><b>【生徒指導・教育相談】</b>                  ○全教員による地道な指導や生徒指導連絡会などによる情報交換により、問題行動も少なく全体的に落ち着いている。                  ○いじめアンケートや面談週間の設定、スクールカウンセラーの積極的な活用や外部機関との連携により、生徒や保護者の心のケアの面で充実した支援ができています。</p> <p><b>【進路指導】</b>                  ○進路別講演会、進路ガイダンス等の計画的実施や、職業人インタビューやインターンシップ等の体験を通じ、職業や進路の理解を深化させ、キャリア教育の充実を図ることができた。                  ○進路指導課・各学年団が協力して「進学プロジェクト」や面接、小論文指導等にあたり、一人ひとりの進路実現に向け一定の成果をあげることができた。</p> <p><b>【健康安全】</b>                  ○体育的行事は天候による変更もあったが概ね計画的に実施し、生徒は活発に活動した。生徒の自主的な取組をさらに進めることが課題である。                  ○健康への意識が高まって健康診断後の治療率が上昇し、保健室の利用回数が減少した。今後は治療率100%を目標に指導を続けることが課題である。                  ○防災安全訓練や安全指導を多数実施し、危機管理意識の高揚を図った。今後も継続して実施し改善を加えていくことが課題である。</p> <p><b>【開かれた学校づくり】</b>                  ○PTA教育力向上プロジェクトで作成したアンケートを行って生徒を取り巻く諸問題について討議し、改善策を検討、実施して一定の成果を上げることができた。                  ○PTA教育力向上プロジェクトに生徒会が参加して文化祭などの取組に成果があったが、今後は地域とも連携を進めて学校のさらなる活性化に努めたい。</p> <p><b>【業務改善】</b>                  ○各課、年次及びPTAの連携により校務の円滑な運営が図られた。また、校内LANを利用して業務の効率化も図られた。                  ○職員会議については事前調整など、さらなる工夫が必要である。</p>
<p>7 次年度への改善点</p> <p><b>【学校運営】</b>                  ○総合学科推進委員会を継続して開催し、「産業社会と人間」及び「未来プランニング」を中心としたキャリア教育の改善に向けた具体的な手立てを示す。</p> <p><b>【学習指導】</b>                  ○正副担任及びガイダンスカウンセラーによる面談を一層きめ細やかに行い、生徒が進路希望に応じた確かな科目を選択できるように指導する。                  ○研究授業などの授業参観を通して、主体的・協働的な学習・指導方法を取り入れた授業を今年度以上に行う。</p> <p><b>【生徒指導・教育相談】</b>                  ○基本的生活習慣は定着しつつあり、継続した指導を心がけるとともに生徒会を中心に様々な活動が主体的に行えるよう促していく。                  ○生徒が、いじめアンケートを記入しやすくし、またスクールカウンセラーへの相談をさらに利用しやすくし工夫する。</p> <p><b>【進路指導】</b>                  ○進路実現に向けて教員間で生徒・進路情報の共有化を図り、より一層キャリア教育を充実させるとともに、3年間を見据えた指導体制を検討する。                  ○進路指導課・各学年団が協力して生徒に早めの進路決定を促し、生徒一人ひとりに応じた進路指導がより効果的に実施できるようにする。</p> <p><b>【健康安全】</b>                  ○健康安全の意識をさらに高め、生徒に自律心と行動力を身につけさせる。                  ○生徒が積極的に取り組めるよう、学校行事の環境を整え自主的な活動を促す指導を行う。</p> <p><b>【開かれた学校づくり】</b>                  ○PTA教育力向上プロジェクトのアンケートを通して生徒を取り巻く諸問題について討議し、活動の一層の充実を図る。                  ○PTA、生徒会、地域の連携を進め、学校運営の一層の活性化を図る。</p> <p><b>【業務改善】</b>                  ○職員会議については、担当者による事前調整を充実させる。                  ○校務分掌や分担等について、組織力強化や人材育成を考慮しながら、円滑な業務遂行に向けて取り組む。</p>

評価	A	優れている	取組が優れている
	B	よい	取組がよい
	C	概ねよい	取組が概ね行われている
	D	要改善	取組に改善が必要